

# 木曾駒ヶ岳に ライチョウ出現



氷河期という厳しい時代を生き残ってきたライチョウ。中央アルプスでは1970年代以降、絶滅したといわれていましたが、昨夏、木曾駒ヶ岳で生息が確認されました。

## 中央アルプスのライチョウの今後を考える

昨年の夏、中央アルプスの木曾駒ヶ岳でライチョウの生息が確認されました。

も、今回確認されたような個体が、木曾駒ヶ岳周辺に飛来していません。


中央アルプスのライチョウは、高遠藩によって確認されてから1960年代まで南駒ヶ岳や空木岳<sup>うつぎだけ</sup>でも目撃されていましたが、1970年代になると確認例がなくなり「絶滅した」と言われてきました。


しかし実はそれ以降


そんな過去の生息記録の事例のほか、中央アルプスに棲息する動物たちの紹介を通して、中央アルプスのライチョウの今後を考えてみましょう。



吉田保晴氏

 講師：吉田 保晴 氏（日本野鳥の会伊那谷支部長）

 日時：6月15日（土）午後1時30分～3時

 場所：飯田市美術博物館講堂 ※聴講無料（申込不要）



飯田市美術博物館

〒395-0034 長野県飯田市追手町 2-655-7

TEL 0265-22-8118 FAX 0265-22-5252 <http://www.iida-museum.org/>

次回の自然講座は6月29日（土）、当館専門研究員・田中 良による「伊那谷の金属鉱床」です。